

まちづくりサポート

まちづくりサポート通信 第1号【公開審査会】

第1回千代田まちづくりサポートの公開審査会が平成10年10月31日(土)行われました。当日のホットな議論を記録にまとめました。

活動発表

午前中は申請グループごとに、それぞれ工夫を凝らしたパネルを展示しながら、これから1年間の活動企画内容を説明しました。

平成10年10月31日(土)

九段社会教育会館
6階レクリエーションホール

午前10時～午後5時まで
(途中休憩を含む)

記録テープから起稿しましたが、紙面の都合で一部割愛しました。

活動発表

P.1

- 1 江都天下祭研究会 神田倶楽部
- 2 江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会
- 3 街づくり・ソフト化促進チーム
- 4 飯田橋地域の開発を考える会
- 5 まちづくり神田工房
- 6 牛込見附復活検討研究会
- 7 「みらい」都心居住促進研究会
- 8 SU(ス)
- 9 防災公園研究会
- 10 TOKYO住環境研究会
- 11 環境総合整備機構
- 12 千代田健康活動クラブ(CHAQ・チャオ)
- 13 歴史・文化のまちづくり研究会
- 15 「神田を往く」
- 16 KAWAYA(カワヤ)
- 17 千代田まちづくりフォーラム
- 18 神田市場研究会
- 19 人のいる広場・道づくり研究会

※14は受付後辞退による欠番です。

審査の経過

P.4

- 第1段階審査
審査委員と申請グループの質疑応答
- 第2段階審査
助成対象活動の確定
- 第3段階審査
助成金額の決定

審査員講評

P.6

会場でのアンケートから

P.8

公開審査会の記録全文は公社ホームページで見られます。

1 祭を通しての「まちおこし」

【江都天下祭研究会 神田倶楽部】



神田祭の研究を中心として、地域の歴史・文化を継承し、祭の持つ地域のつながりとゆかりによるコミュニティ回復の意義を再発見し、神田活性化を図るまちづくりを目的としています。

11月3日文化の日、旧暦の9月15日江戸時代の神田祭の日に、「江戸錦絵に見る神田祭ルートウォーキング」と題して、当時の祭の道筋を歩くという企画を練っております。

平成11年は神田明神大祭の年に当たり、氏子108カ町の御輿、半纏並びに御飯屋などの調査を計画しています。

神田のまちを離れた方々には、もう一度神田に住みたいとか、今住んでいる若い人々には、神田にずっと住み続けたいとか、祭を通して考えてもらえるような会にしたいと思っています。

2 江戸ゆかりの山車フォーラム'99

【江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会】



千代田区に「住み・働く」誇りをとり戻し、区、住民と企業区民との交流を図ろうとする時、かつての華やかな山車を媒介にした、新しい祭文化の創造がキーポイントになるのではないかと考え、'98年のフォーラムの成功に引き続き、'99年にも山車フォーラムを行い、近隣都市の参加も得て、伝統文化の継承と地域の活性化、ひいては産業振興へと寄与していきたい。

近い将来には、多くの山車を一気に集めて、大きな新しいイベントを行えるところまでを視野に入れて活動を広めていきたい。そのための記録集制作、記録VTRの各市ケーブルテレビでの放映、より深化したフォーラムをつくりあげていくことを'99年度の目的としています。

3 遊休不動産(ビル・マンション・区の施設)等の有効活用による新たな千代田区の街づくり

【街づくり・ソフト化促進チーム】



私たちのチームは遊休不動産、ビルや、マンションとか、区の施設の有効利用、活用による、新たなまちづくりというテーマで、この1年間を研究していきたいと思っています。

21世紀における千代田区のまちづくりのあり方は、「ハコ・モノを造るハードの時代」から、イニシャルコスト(投下資本)を極力抑さえた、遊休不動産などの「再活性のソフト化の時代」と、世の中に認識させる一石を投じさせていただきたいと思っています。

提案した案件につきましては、個々にマネージメント収支を明らかにし、このプランの実現性を高めるよう創意工夫していきます。

4 飯田橋JR貨物関連用地等の開発に伴い、どのような開発が望ましいか。また飯田橋地域にどのような効果・影響があるか。

【飯田橋地域の開発を考える会】



私たちは今、飯田橋地区計画をさせて頂いています。この地域の開発予定の土地は広く周囲にも多大な影響を及ぼすと考えております。しかし私たちに、いろいろな専門知識がないということで、専門家を呼んで勉強しようというのが、この会の大きな目的です。

活動は、毎月ごとにテーマを決め、講師の先生を呼んでの勉強会を考えています。また、地元の商店街は、非常に危機感を持っておりまして、よりよいまちづくりを、皆で、積極的に考えていこうとこの会を発足しました。まちの特性や、魅力的な関係を、自分たちの手で分析し、掘り出し、夢の持てる未来像を具体的なイメージとして提示し、専門家の方々に協力して頂き、主体的な勉強会を通じ、地域に具体的な開発プランを提言していきたいと考えています。



5 神田の街づくりを公園から考える

【まちづくり神田工房】



公園のさまざまな利用によって、公園を出発点として、まちのイメージを膨らませられるのではないかと。公園は身近そうで身近ではない、非常に中途半端な、不思議な空間になっているので、逆にそれをいろいろな形で利用していけたらいいのではないかと、ということを考えています。

さまざまな在住、在勤、在学等の方々と交流を通して、イメージを膨らまして、媒体づくりをする。それが広報誌だったり、ハードをつくるイメージの実験だったりということをしていく中で、公園というイメージを膨らませ、公園から地域に広がっていく、さまざまな活動に広げていけたらいいなど考えているわけです。

6 牛込見附をいかした地域観光まちづくり

【牛込見附復活検討研究会】



牛込見附は、今から350年前何千何万という労力を使ってつくられたのです。私たちの活動というのは、牛込の価値を、もう一回見直して、地域観光につなげていくことです。見附周辺の保存、文化跡の保存、見附周辺の改良ということで、当時の櫓ですね、冠木門を一部試作したいなど。次に、地域観光の商業の創造ということで、見附をシンボルとして、地域の街並みを考えてみよう、と同時に見附のグッズとPR。

特徴として、実践習得研究会、まち

づくりというのは、職人さん達の生の声を聞いて、私たち考え方が実際どこまで、現実的なものかをと聞きながらまとめていきたい、どこまで復元できるか、どこまで地域に生かせるかという、地元住民自ら研究していくという会です。

7 定期借地権を活用した都心居住促進策

【「みらい」都心居住促進研究会】



まちづくりといいますが、人が住まなければまちではないわけです。ですから、私たちにかけかわりの深い神田地区を焦点に当てて、人が住むまちとしてのにぎわいを取り戻す、ということに応募しました。

問題を3点に絞りました。一つは、神田地区の住環境の調査。庶民のまちでありました、神田のコミュニティがどう継承され、あるいは失われているのか。次に、コミュニティを維持し復活させられる集合住宅を建築的な視点からアプローチしてみたい。三番目に、どういう手法なら地権者も納得がいき、かつ定住志向の庶民に手が届く、住宅が供給できるかというテーマであります。定期借地権を使った共同化ということでの、皆さんの手の届く住宅供給ということを考えていきたいと思えます。

8 オフィスを人の住む場に変える

【SU(ス)】



都心にあるオフィスビルのワンフロアを人の住む場所に変える、そういうイメージで自分達のつくる都心

の家というSU(ス)と名付けました。住んでみて実感してみると、かなり生活の場としては苦しいというのが現状なのです。それで感じたことを、自分達でつくり変えて、どうやったら、人が住み易いような内容の住居にできるか、自分達でつくって、いかに人が住む場に変えていくかということを実践している例なのです。

テーマは、3つありまして、自分達で出来る所は自分達でつくるという事、自然素材を使ったつくり方をしようというのと、仕事をしながら休みながらつくるということです。そして、ただ家をつくっているのではなく、一つの実例として、展覧会に使ったり、いろんな場に開放していきたいと考えています。

9 千代田区内小公園の防災化に於ける調査研究及び施設開発提案

【防災公園研究会】



いろんな職種の技術屋集団でありまして、石屋さんからペンキ屋さんから、私は設計事務所をやっていますが、そういう人達の集まりで、防災公園をやらうと、勉強会を開いております。そんな中で、何故、神田にしたかといことは、千代田区の中で、特徴的な場所である。その辺に、着目致しまして、その中でバブル時期の残存空地といましようか、そういう物も含めて、小さなポケットパークが



幾つかございます。それらを、もう少し整備した上で、ネットワーク化して、何かそこに技術的な手を入れて提案ができないものか、ということが私どものテーマとなっております。我々は大きな公園は考えておりません。小さな公園、あるいは残存空地を、防災公園化する、ということのための研究調査していきたいと思っております。

10 バブル期における富士見地区の都市空間変貌過程に関する記録的研究

【TOKYO住環境研究会】



千代田区の住居系地域は、バブル期に内部崩壊的な変貌を遂げております。住民は、約半分に減り、空き地が目立ち、高齢者ばかりが残され、新しいビルも空き室が目立ち、更に商店街も苦戦しています。

何よりもまず、この時期、まちで起きたことをチキンとした記録として残すということが、後に対しての責務ではないかと思えます。

方法は、一つはデジタル映像装置による記録的なもの、それからコンピューターグラフィックスによるまちの変貌の再現研究のようなもの、それから空間分析、これはキーワードあるいはパターンランゲージという手法を用いたいと思えますけれども、このような三つを軸にして総合化し、デジタル化、CD-ROM、ホームページによって公開したいと考えています。今期は記録研究として、できればこれを具体的な提案活動等に、次の段階で進めていきたいと考えています。

11 神田川・日本橋川の舟運復活(川の手構想)

【環境総合整備機構】



昔の浮世絵だとか各所図絵を見ますと、いかに舟というものがこの周辺に往来してたかと分かる訳です。私も舟でだいぶ周りまわりましたが、川の面から都市を見るということが、非常に必要であると思えます。

舟運による波及効果を考えていきますと防災上プラスになります。ご承知のように阪神の震災の時に、地面は使えなかったけれども、川・舟は使えた訳です。水面より都市を巡るといって立体都市形成ですが、この二段になった都市と考えてはどうだろうか、アメリカのテキサス州にサンアントニオというのがありますがけれど



も立体都市です。下はリクリエーションであり、上はビジネスであります。

そのような環境の中で、川縁を利用するということが、いかに重要であるかということを強調したと思います。

12 千代田区の健康づくりナビゲーションマップとケアガイドの調査・作成

【千代田健康活動クラブ
(CHAO・チャオ)】



3年半前から、家事・育児・仕事・地域活動で忙しい中高年の健康づくりに取り組んでいます。いきいきプラザ一番町を拠点に、人の輪が広まりつつあるので、健康づくりは仲間づくり、地域づくり、まちづくりへと発展しそうです。

今回、是非広報活動も含めて、生活習慣病予防のための、歩くルートの調査、距離と時間の設定、立ち寄り健康増進施設など、一人一人の年齢や身体の状態、生活習慣病の症状に合わせた、楽しい千代田区内探訪のウォーキングナビゲーションマップと、ケアガイドを作成してみたいと思います。

13 千代田区歴史的建造物マップづくり

【歴史・文化のまちづくり研究会】



千代田区は、皇居を中心に官庁街ですとか、オフィス街ですとか、お屋敷町、庶民的な町など、さまざまな要素で構成されています。その中で、建物は非常に重要な役割を果たしていると認識しています。歴史的な宝庫、本当に千代田区にはたくさんの歴史的な建物があります。

そのために私たちは、まずどういった建物が千代田区の中に残っているかという、歴史的建造物マップをつくらうということになった訳です。その中で、是非、一般公開方式の勉強会というものを開催して、私たち調査をする人間だけではなく、一般の人にもこういった物があるのを

知ってもらい興味を持ってもらえればと考えています。

15 失われゆく下町神田の歴史と文化の発掘と調査研究

【神田を往く】



失われる下町、神田の歴史と文化の発掘と調査ということで、私たち主婦三人が、手探り足探りで始めた研究です。

明治30年代に学校、病院、塾、専門学校ができ、神保町、神田が学生の町となり、そして出版、印刷工業の関連産業が地場産業となり、そして、まちが活性化されていったのが、神田のまちでありました。

人が集い、商業が集積し交流していった、かつての神田には、こうした文化があり、我がふるさと・神田の誇りがありました。そうした、誇りを持った三人の主婦が足探り手探りで、研究していったものが社会科の資料として、神田に住む子供達の中に受け継がれ、語り告がれて、神田のまちはこうして成ったのだということが文化遺産と成ればと思っています。

16 千代田区におけるトイレの使い方・使われ方～まちづくりへのきっかけとして

【KAWAYA(カワヤ)】



トイレは、誰もが使う施設ですが、現状は誰にも使いにくい、使いたくないという状態です。まず、施設と設備とかを良くすることも大切ですが、使う側として使い方を認識するとともに、新たな使い方を、提案していきたいと考えました。

車椅子で疑似体験したり、心理的誘導作戦としてサインの色を変えたり花を持っていったりすることで、人がどういふふうに使ってくれるかを、実際に実際にかかわってフィールドワークを多くして、まちの人をより多く取り込んで、という活動をしたいと思っています。まちの人達と一緒に、リアルタイムでそういう、モラルとか



施設をつくっていく、提案をしたいと思っています。

17 歴史・文化から見た住まいづくり・まちづくり

【千代田まちづくりフォーラム】



私たちの目指す理想のまちを、描いてみました。まちに愛着を持ち、生き生きと暮らし、活動している。そして、お互いにかかわり合い、力をあわせることによって、暮らし良い環境をつくり出して行く。そして、つくり出すプロセスを楽しめる人々が暮らしている。

こんなまちが、私たちの考える、ずっと住み続けたいと思う快適なまちです。住まいづくりを通して、住まう人自身が模索して、活動していくことをしたいと思います。これが、コーポラティブハウスづくりの発想です。この発想は、まちづくりと繋がっております。それぞれの、暮らし方に合った住まいづくりを問い直す、私は、このように考えていますが、「貴方はどのように考えていますか」と問いかけを、この活動を通して、行っていききたいと思います。

18 市場としての神田

【神田市場研究会】



私どもの行いたい研究というのは、きわめてシンプルでありまして、昭和35年の『千代田区史』に神田の特徴とも言えるべき、問屋街の分布

等が、業種構成も地域分業も、在り方も含めて記述されております。

神田の魅力の底流にあるのは、やはりここが、商店街であったということでない、単なる住宅であったことでもない、その間屋性って言いますかと、市場性にあるのではないかとこのように考えました。そのことを、昭和35年の図面と現在の関連業種、地域分業の在り方をプロットしてみ、逆考察してみたいという、かなり基礎的な研究でございます。本心を言えば、都市計画の中に生きて言葉を取り戻したいということの一環で、今回は神田の中で市場性ということを考えてみたいということでございます。

19 魅力的な人のいる広場・道づくり

【人のいる広場・道づくり研究会】



一番町・麹町地域は休日には人が少なく、ひと休みする店もなく、生き生きとした魅力に欠けています。住んでいる人だけでなく、この地域を愛している好きな「ファン」づくり活動の一環として「人のいる広場・道づくり」をめざします。

私たちは「千代田客間説」というのを考えました。ここは立派な床の間も、飾り棚も掛け軸もあります。でも、床の間には生け花も掛け軸もない。ましては、人気も無いし、お茶も出てこない。つまり、基盤はできあがっているのに、今ひとつ…という感じの場所です。

花の名所とか、話題の名人をつくらったり、カフェアートドーム等をつくりながら、これは、道や広場を活用したアート、そういう迎える情景の演出をすること。それから、そのキッカケをつくるために、スケッチの会とか、俳句の会、散歩の会、満喫会をネットワークしたいと思っています。

審査経過

午後は次のような三段階の決定方式により進められました。

第一段階

活動企画内容を審査し今回のサポート助成が、必要だ…黄色活動企画内容について、もう少し話を聞き、助成が必要か判断したい…水色

社会的に意義のある活動だが、千代田まちづくりサポートの助成趣旨には、馴染みにくいと考える…茶色

第二段階

今回助成対象として、推薦する…赤今回は、ちょっと、無理だけれども今後の活動に期待したい…緑



第三段階

助成金の調整・決定

審査委員が18グループについて、第一段階の投票をさせていただきました。これを下敷きにして、少し議論を深めようと、皆さんの方にもお聞きしたい。

順番でやりたと思いますが、さっき、1番からやりましたので、公平を来すため、一番下からいきたく思います。

19 人のいる広場・道づくり研究会

Q: 具体的にどのように声をかけるとか、もう少しお聞かせください。

A: 対面しながらアンケートを取っていくと思っています。この俳句の会等も、素人の人でも気軽に入りやすい、なおかつ、今まで尻込みしていた方も、ぜひ一緒にしましょうよ、というところから入っていくと思っています。

18 神田市場研究会

Q: ポイントが絞られていて、具体的なやり方も決まっています。活動として広がりやすいのですが、活動として広がりやすいのか、考えていますか？

A: 実際の流通にかかわられている方、問屋街の方に変遷とヒアリングをしたいと思っています。

17 千代田まちづくりフォーラム

Q: どういう所へ向かって、活動を展開して行こうというのが、多少見えにくかったかなあ。

A: 一番やりたいことが、住まいづくりを通して、コミュニケーションをつくって行きたい。何故かという、やはり、私たちずっと40年間住んでいるのですけども、他の住民方達と、自分達でやっていることと、そこからみんなで、私たちの手でやりましょうよ。その呼びかけから、始めたい。



16 KAWAYA(カワヤ)

Q: 杉並でやったことを、また千代田で同じことをやるのでは意味がないと思って、その展望があるのならぜひやってもらいたいです。

A: ワークショップというのは、私たちの活動がより多くの人と一緒に参加してもらうのに意義があるので、気軽に意見を言ってもらえると思うし、またこちら、新鮮な提案もできると思うし、そういうのをやり取りしている内に、また、新しいコミュニティみたいなものも生まれてくるのではないかと考えてました。

15 神田を往く

Q: まず、ご自分達の中で、内側での勉強会が主体というふうには、私は受け取ったのですが。

A: 神田公園地区として残せるものは何だろうと話しあった時に、子供達が社会科で神田のまちを調べましょう、住んでいるまちを調べましょうと、いうことをよく宿題に持ってくるという社会科の中の一環になる様な物を残していきたいかと思いました。

13 歴史・文化のまちづくり研究会

Q: 結局どのようにまちづくりに生かすか見えてこないのですが。

A: 歴史的建造物は環境資源と私たちは捕らえています。歴史的建造物とまちの成り立ちとの関連づけについても、考えていきたいと思っています。

Q: こういう市民活動としてマップづくりは、その調査活動、調査手法に、どのように市民を巻き込んで

いくか、そのプロセスの中でどれだけ多くの人とコミュニケーションできるか、その成果がマップになるというのが理想ですね。

12 千代田健康活動クラブ

Q: ウォーキングナビゲーションマップとケアガイド、自分で活動する、もっと活力を促すことに、ウエイトを置いてもらいたい。至れり尽くせりをやってはいけません。もっと、自分でやりなさいと。そういう視点で、つくって貰いたい。希望を言わせてもらいましたが…。

11 環境総合整備機構

Q: この千代田まちづくりサポートは、学術研究よりは地域に住む市民のユニークな活動をしている所に出して差し上げたいと…。

A: 千代田区にでも、まず、とっかかりとして船着き場でもできれば、それから、まちづくりが発展していくのではないかと…出したことですので…。



10 TOKYO住環境研究会

Q: 一種のパターンランゲージという、デザイン論みたいな所に、その興味の対象があるのではないかと、このまちづくりサポートには、ハイグロースすぎるのではと思いましたので、

A: ハードボイルドに記録したいというのが基本的な思いです。空間をいじって何かしていくというのは、そういう研究が、幾つかあるのも分かっていますし、そういう方は、住民として、全く興味が無いという、その視点では、全く持たないということですね…。

9 防災公園研究会

Q: 5番のグループで、公園をテーマにしている。この二つのグループが何か良い形で、共存しながら協力しながらということは、考えられますか、両方にお伺いします。

A: 考える余地はあるのかと思いま

すが…。

A: 公園の存在感をデザインの面でどうやってアピールしたらいいのか、もしこれについてアドバイスを頂ければありがたいと思います。

8 SU(ス)

Q: 住んで居るのに、公開するのは大変だろうと思うのですが。

A: 逆に、住んでいる場所です、そういうことをやる方が面白いと思うのです。状況で、そのまま見せて、集会にしたり、人が集まる展示会を企画したりとか。

Q: 大事なのはね、奥さんだと思うのです。奥さん、これかなり大変ですよ。その辺の覚悟を聞かせて下さい。

A: 私もそういうことは、やりたいと思っているので、こちらも構えないで、自然に集まってきたら、その辺を徐々に広げていけたらと思います。私も、楽しみたいと思っています。

7 「みらい」都心居住促進研究会

Q: 住宅を供給すればいいのではなくて、密集したビルの多い地域に、人が住んでいくことの精神的な意味なんかを、どう考えるのか…。

A: 私どもメンバーに、町会の役員とか青年部の役員とかいると、申し上げたかと思えます。その方達の協力を得ながら、地域の皆さんのお話を聞き、インタビューし、相談し、という手法を、当然取っていくつもりです。

6 牛込見附復活検討研究会

Q: 観光と、何か、つくると言ってもこの視点が、あやふやだなと感想を思ったのです。

A: まちを紹介するというのは、観光なのです。ですから、牛込を少しずつ、綺麗にしていくって価値を高めて、これが、自分の所のシンボルなのだ、自分のまちを紹介し

ていく。そして、そこに住んで居る人の、自分のこころというか昔のふるさとというふうには、繋げて行きたいとそういう趣旨です。

5 まちづくり神田工房

Q: 街づくり協議会との関係とも含めて、もう一度、補足的に…。

A: 「街協」という枠組みを外して、皆でやろうと思ひ、公園という身近なテーマが良いのではないかと。それならば、子供も参加できるし、公園の隣に住んでいる、皆も参加できるのではないかと。それに、在勤、在学の人も利用しているではないか。皆を巻き込む、イベントをやったり、そういうことをすればもっと、関心を持ってもらえるのではないかと…。

4 飯田橋地域の開発を考える会

Q: このサポートでテーマが大き過ぎるという印象を持ちました。

A: 小さな一歩から、一番下から盛り上げていきたいと思っています。それに我々は、本当に何も知らないで、どんどん、開発が進められていいの、というのが一番不安に思っていることです。

Q: 地元の方たちだけでは、目指したことを実現していくためには、少し弱いのではないかと、という気



がします。

A: 専門家の講師を頼んでいます。しかし、コンサルタントに頼らず、自分達の手でやっていこうというのが私達のスタンスです。

3 街づくり・ソフト化推進チーム

Q: このまちづくりサポートというのは、コミュニティ活動というか、地域活動の顔を持った、一面を持っていないと、

Q: こういうことを、やって千代田区のまちづくり、地域として、どういふふうには展開していくか、その展望の所を、あまり感じられなかった。何か、コメントがありましたらお願いします。

A: 例えば、人口を増やすために、私達は、外から、事業家なり、企業なり、国際交流ができる外国人なりを誘致して、盛り上げようと考えています。そのために、地元から出た文化交流、国際交流ができる地盤が、千代田区には、魅力的に揃っているのではないかと、外から誘致するためには、器が必要だということ、こういった、ソフトができました

2 江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会

Q: ここは元気で、派手ですね。これだけの力のある所に、まちづくりサポートのお金を出す必要があるのだろうか…疑問です。

A: 元気のわりに、お金も元気ではないかと、いうご指摘ですが、実際に全く無いのです。それで本当にボランティアで立ち上げて、今ま

で、綱渡りをして来ている訳で、よろしくをお願いします。

1 江都天下祭研究会 神田倶楽部

Q: 単に、記録史をつくっても、レベルの高いモノをつくらないと、どこかに、私蔵されて終わってしまう。その辺、よく考えて、キッチリ企画して市場性がある、競争力のあるモノをつくって頂きたいと思ひます。

A: 江戸三百年の歴史を研究していく中で、やはり、自分のまちづくりのビジョンというのが、ビデオとか、出版関係だけに止まらず、将来に繋げていきたいですね。

各グループと審査員との質疑応答が終わり、しばし休憩。

その後、審査員により第二次評価の投票が行われました。この評価に対して、いくつかのグループからの意見が出され、審査員との白熱した議論が続きました。

さらに第三段階として、助成額の調整が行われ、予定時間を1時間近くオーバーして、最終的な助成対象と助成金額が決定しました。

最後にの審査を終えた審査員のみなさんから感想…これから1

年間の活動への期待、助成対象とならなかったグループへの助言などがあり、長い長い一日の公開審査会は終わりました。

この千代田まちづくりサポートは個人58人・法人132・合計190もの公社賛助会員の会費により支えられています。公開審査会の開会にあたり賛助会員を代表して、吉田英夫氏(安田総合計画代表取締役社長)からごあいさつがありました。



愛称募集!



千代田まちづくりサポートのマスコットの愛称を募集しています。

●平成11年4月30日(金)まで
●FAX、E-mailで応募してください。



グループ名	第一次評価			第二次評価		申請額	決定額
	助成する	話しを聞きたい	助成になじまない	助成する	見合わせる		
1. 江都天下祭研究会 神田倶楽部	●●●●●	●●		●●●●●●●●		21	15
2. 江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会	●●●●●	●●●		●●●●●●●●		50	20
3. 街づくり・ソフト化推進チーム		●●●	●●●	●●	●●●●●●	50	-
4. 飯田橋地域の開発を考える会	●●	●●●	●●	●●●●●●	●●	50	20
5. まちづくり神田工房	●●●●●	●●●		●●●●●●●●		50	21
6. 牛込見附復活検討研究会	●●●●●	●●●		●●●●●●●●		50	35.5
7. 「みらい」都心居住促進研究会		●●●●●●	●	●●●	●●●●●	50	14
8. SU(ス)	●●●	●●●●		●●●●●●	●	50	24
9. 防災公園研究会	●	●●●	●●	●●●●●●	●●	39.4	20
10. TOKYO住環境研究会	●●●	●●●	●	●●●●●●	●●	50	22
11. 環境総合整備機構	●	●●	●●●●	●	●●●●●●●	40	-
12. 千代田健康活動クラブ(CHAQ・チャオ)	●●●●●●	●		●●●●●●●●		50	35.5
13. 歴史・文化のまちづくり研究会		●●●●●	●●	●●●●●●	●●	45	18
15. 「神田を往く」	●●●	●●●	●	●●●●●	●●●	26	11
16. KAWAYA(カワヤ)	●●●●●	●●●		●●●●●●	●	50	23
17. 千代田まちづくりフォーラム		●●●●●	●●	●	●●●●●●●	42.8	-
18. 神田市場研究会	●●●●●	●●●		●●●●●●	●	9	7
19. 人のいる広場・道づくり研究会	●●●●●	●●●		●●●●●●		25	14

審査員講評

一日がかりの公開審査会を終えて、審査員の方から講評をいただきました。

[卯月 盛夫]



税金を全く使わずに、千代田区民自らの「寄付」と「汗」と「知恵」を出し合うまちづくりがスタートした。区内の190におよぶ個人と企業が浄財を「街づくり推進公社」に寄付をし、それを区内のまちづくり活動団体に助成するという、日本でも極めて珍しいユニークな制度である。1998年10月その第1回の公募が行われ、過日公開審査会が開催されたので、その時の印象を書いてみたい。

まずこのような初めての制度の初年度にもかかわらず、18グループの応募があったことは、大変喜ばしい。折しも12月1日に「特定市民活動促進法」、通称NPO法が施行されるこの時期、「区民活動の財政的支援」事業は千代田区民にとって大きな期待をもって受け入れられた、というべきであろう。もちろん数ばかりでなく、そのテーマや内容も千代田区ならではの提案が多く見られた。たとえば伝統ある行事や歴史的史蹟を復活再生してシティプライドを高めようという活動や、区内に何とか都市型住宅を増やそうとする活動等は、すでに行政だけでは解決しないということが明らかであり、区民活動への期待は大きい。特に都市型住宅に関しては、ソフトな施策を含

めた多面的な活動が提案されており、一年後の成果が楽しみである。さらに各グループのメンバーも、千代田区在住の区民ばかりでなく、在勤の企業区民、在学の学生区民と幅広いのも千代田区ならではの特徴である。

さて「公開審査会」についてだが、これも参加者全員初めての体験であったにもかかわらず、かなり民主的に運営されたように思われる。審査会というと、どうしても審査員が秘密裏に決めてしまう印象をもってしまいが、そうではなく会場参加者全員で議論しながら公開で決めていくプロセスは、たぶん応募された方々にとっても分かりやすかったのではないだろうか。区民みんなのお金の使い道を決めるには、ふさわしい方法であった。この公開審査会での議論は今後活動を進める上で、また翌年の応募のためにきつと役に立つだろう。

しかし、審査を終えていくつかの課題も明らかになった。それは、既存の「街づくり協議会」の活動との関係である。今回いくつかの協議会のメンバーが、協議会では活動しにくいという理由で、新たな活動テーマを提案してきた。これをどのように整理するかという課題がある。また、応募内容が事業性のある営利活動に直接繋がるかという判断を、どのようにするかという課題がある。この点は正直言って、審査委員の中でもまだきちと議論されていない。さらに、今後区民活動が進んでいくと、様々な面で区役所の協力や事業上の調整が必要となる。そこで区民の自主的活動と区役所の計画や事業との調整を、公社はどのようにしていくかも大きな課題である。

いずれにしても、区民と公社と区役所のパートナーシップなしには、千代田区のまちづくりは進まない。「千代田まちづくりサポート」という新たなシステムをうまく使いこなして、みんなで千代田のまちづくりを担っていききたいものである。

1 江都天下祭研究会 神田倶楽部

[三枝 敏男]



祭を愛し神田を愛する人達の心意気が強く感じられました。すでにグループとしての活動も軌道にのりつありますので、今回の助成でなお一層活発な活動が期待されます。神田における祭の持つ意義は他の地区では想像もできないことで、まさに神田っ子の源泉です。見学会や勉強会を通して見識を深めていただくとともにPR活動にも力を入れていただき会員も増えると思います。そしてやや衰退気味の神田祭の活性化を考えて欲しいと思います。

2 江戸ゆかりの山車フォーラム 実行委員会

[三枝 敏男]

山車をテーマにすでに第一回のフォーラムを開催した実行力に敬服しました。しかも神田だけにとどまらず関東全域を巻き込んだことも実行委員の努力の賜だと思います。これからの目標も「フォーカス」から「サミット」へ、日本全国の山車を集めて実行したいというスケールの大きな発想に、夢と期待を託します。僅かな助成ですが、これを契機にますます活動が活発になり夢の実現に向かって着実に進展していくことを願っております。

3 街づくり・ソフト化促進チーム

[伊東 敏雄]



必要な研究であり、緊急な課題でもあります。プレゼンテーションも要を得て、熱意、意欲も感じられました。今回、助成の対象とならず、今後の活動に期待したい範疇に入りましたけれども、多くの専門家がこのサポートへの参加をすることの必要性は、卯月委員長も主張していますように、今後の検討課題となると思います。地域住民の参加のイメージを出すこと。区の施策への提案につながる手法であることを強調するこ

と。事業性評価は必要ですか、事業については、少し基礎的条件として組み込み、まちづくりの在り方への提言につなげて行く方向で、理論を再武装されては如何でしょうか。

4 飯田橋地域の開発を考える会

[森 まゆみ]

自分の住む近くに巨大再開発の計画があっても、何もいえずに計画が進行しがちである。多くの場合、町会や商店街のトップ以外の住民が意見をいう場がないし、開発側に比べて住民には知識や対案が無い。本件は飯田橋貨物駅とその周辺の大プロジェクトに対し、周辺市民が自分たちの対案や希望を出していくための地づくりとして重要な企画である。専門家や行政の協力も得て効率のよい市民参加の方法を探してほしい。

5 まちづくり神田工房

[北沢 猛]



神田地区の公園や広場(公開空地を含む)を中心に歩行者ネットワークを見直そうという内容で、貴重な資源である公共空地を有効に活用しようとする企画は評価できる。特に住民だけではなく在勤・在学者も含めて検討しようという視点は神田地区の特性に即したものである。街づくり協議会での議論の展開ということで利用実態調査やワークショップ、ニュース発行などプログラムもしっかりしており活動が期待できる。

できれば、広く調査や検討を加えた後で少し場所や課題を絞って具体的に検討して欲しい。

6 牛込見附復活検討研究会

[森 まゆみ]

牛込見附は江戸城の外濠にあった。城内で、石垣はかろうじて残っているが、周辺の景観も変わり、その歴史性が忘れられている。再び牛込見附の意味を掘り起こし、石垣を修復し、当時見附を築いた職人たちの技術を再評価する。可能なら冠木門や櫓の復元をという大変情熱に満ちたユニークな企画であり、見附グッズを普及したり、楽しみながら、言葉の本来の意味の観光「未来に光明を観る」まちづくりにつながることを期待する



7 「みらい」都心居住促進研究会

[山崎 芳明]



不動産や建築等を職業にされている方々のグループということもあり、初めの段階では、助成対象として適当か判断に悩んだ。審査会としても「今回の助成の対象として推薦しない」方が多い結果となってしまった。しかしその後、助成額を決める最終段階での補足説明が効を奏し、セーフとなった訳だが、「定期借地権を活用した共同建築の促進」については研究結果を期待している。

8 SU(ス)

[山崎 芳明]

オフィスを安らぎのある居住空間に変えるため自らの手で工事を行い、その後は、そこに居住しながらパーティの開催等で広く公開していくという試みは、とても面白いと思う。完成した空間が、今後の都心居住のあり方を示唆するようなものになるかはともかくとして、活動そのものが都心における各種コミュニケーションのきっかけになることは間違いないだろう。

9 防災公園研究会

[平岩 千代子]



阪神淡路大震災では、地震発生直後は行政機能が完全にマヒ状態に陥る一方で、地域住民のネットワークや市民のボランティアな活動が絶大な力を発揮することも明らかになりました。

こうした教訓からも、市民が中心となり、行政とは異なる視点で、公園を防災の側面から見直すことは意義深いことです。さらに、メンバーが「技術系異業種の有志の集まり」であることから、実際に機能しうるプランにするために不可欠な専門性も期待できます。

ただし、専門家が陥りがちな「理想的な」プランではなく、地域の生活実態に根ざした「実行可能なもの」にするために、一般市民と共にプランをつくりあげるプロセスが必要だと思えます。

10 TOKYO住環境研究会

[森 まゆみ]



バブルの爪跡が著しい都心区・千代田の富士見地区について、その変化(現象)を懐古趣味ではなく、冷静に記録しようとする画期的な試みである。未来へ向かうものは過去を総括し、それを踏まえなくては前に進めない、建築・メディアデザインなど専門家による新しい手法の記録に期待すると共に、バブル当時の不動産のチラシや町内報といった資料もきめ細かに蓄積して欲しいと思う。

11 環境総合整備機構

[伊東 敏雄]

都心の水辺に着目した活動の提言は、他の審査委員も発言されていますように、大切な活動であり、環境資源に着目している点、時期を得た提言でもあります。プレゼンテーションが、これまでの活動成果によっていたことと、活動プログラムが、千代田区民を巻き込む流れをつくって行く手法の提案にまだ成っていない点、印象が希薄になっていたかと思えます。今回、助成の対象とならないけれども、今後の活動に期待したいという評価になりましたが、まちづくりに対しての活動に固定的な概念ができてくることへの批判も含めて、水辺環境、線状公園、連鎖型河川博物館等の提案は、是非継続していただきたいと思えます。千代田区まちづくりの手法にどう繋げていくかを検討され、再度挑戦して欲しいものです。

12 千代田健康活動クラブ (CHAO・チャオ)

[平岩 千代子]

「千代田区の健康づくりナビゲーションとケアガイドの作成」プレゼンテーションを聞いて、「このようなマップ付きガイドブックができれば、多くの市民が楽しく活用できそう!」との印象をもちました。

区内の健康拠点を結び、「高血圧予防コース」「糖尿病予防コース」など対象別のコースづくりを目指しています。また、コース途中には、血圧測定や採血をする科学的な健康管理手法やエクササイズも巧みに取り入れようとの計画です。遊び心に富んだ、ゲーム感覚をくすぐられる市民の「知恵」で、行政のつくった「はこ

もの」を使いこなそうというユニークなアイデア。さまざまな健康増進施設の恰好の「市民版ガイドブック」になることも期待しています。

13 歴史・文化のまちづくり研究会

[山崎 芳明]

千代田区では平成10年10月から「景観まちづくり条例」に基づき、建築物等に対して景観面からの指導誘導を開始した。このような中、区内の歴史的建造物の調査を行い、マップ化することは大変意義のあることと思う。なお、今回は難しいかも知れないが、それらの建造物をまちづくりの中でどのように活かしていくか、具体的な提案を是非お願いしたい。

15 「神田を往く」

[三枝 敏男]

失われてゆく下町神田の歴史と文化を発掘し、自分たちの手でまとめあげようという、地味ではあるが貴重な活動だと思えます。しかも地元の主婦が主体となっていますので、きっと行政には目のとどかないキメ細かいレポートができあがることを期待しております。そして「さくら館」の一隅で手に触れた人達が、神田をより一層深く理解していただけることを願っております。時間の制限もあると思えますが力を合わせて納得のいくレポートを作成してください。

16 KAWAYA(カワヤ)

[平岩 千代子]

学生中心のメンバーが取り組む「トイレマップ」は、子供連れや高齢者、障害者などが安心して外出を楽しむための強い見方となるにちがいありません。

そのためにも、第一に、さまざまな利用者のニーズ特性を把握できるような調査設計と分析。第二に、利用者ニーズに即したトイレ情報の収集。第三に、マップに掲載するトイレの数が多きほど利用価値が高くなること。などを念頭に置き、利用者のタイプを具体的に想定した「使う人の顔が見える」マップづくりが望まれます。

また、公共のトイレを、誰もがいつでも気持ちよく使えるようにするため「しかけ」についての提案や、今回収集するデータの更新方法についても併せて検討していただきたいと思えます。



17 千代田まちづくりフォーラム

[伊東 敏雄]

都市の住民自発的、自立的活動の集積の上にまちづくりが行われていくことが、これからのまちづくりの手法だと思われます。世田谷区にもあるまちづくりフォーラムと同じような千代田まちづくりフォーラムを結成し、歴史と文化に着目した基礎的な研究啓蒙活動をノン・プロフィット・オーガニゼーションとして進めようとする活動の提言は注目すべきであり、評価もしたいと思います。千代田区街づくり推進公社の事業内容、千代田区街づくり協議会の活動内容も同じ様な主旨の部分もあり、それとの棲み分け、かかわり等についてさらに検討戴き、活動内容ももう少し絞り込んで考えて見てはいかがでしょうか。今回、助成の対象とならないけれども、今後の活動に期待したいという評価になりましたが、勇気をもって継続されることを希望します。

18 神田市場研究会

[北沢 猛]

今回もとても少ない助成申請額で、審査員も思わず票を入れてしまうというなかなか巧妙な申請であった。しかし内容は実に興味深いもので、神田の「まちそのものが市場」と捉える着想が優れており、現在でも同業種の集積と関連業種の相互関係がどのように維持されているかが明確となれば新しいまちづくりのきっかけとなるのではないかと。活動内容としては地道な調査が続くこととなるかもしれないが、こうした研究や他の新しい活動などを通して神田に「未来の市場」が形成されることを期待したい。

19 人のいる広場・道づくり研究会

[北沢 猛]

番町・麹町・永田町地域を対象としており、今回はややこの地域で活動申請が少なかったが、この企画は「人」に着目しているところが評価できた。魅力的な場所は、人が集まり人が使い人が楽しむ場所であってはならない。スケッチや俳句の会を実際に開くなどの活動を通して、実際に色々な人との交流をしながら考えていこうという意欲的な企画である。もう少し焦点を絞ったほうが継続しやすいのではないかと意見もあったが、学生が主要なメンバーになっており今後のアクティブな活動を期待したい。少なくとも3年は継続させるということなので、具体的な活動の中から新たな発見をしさらにそれを発展させて欲しい。

会場でのアンケートからみなさんの感想は

助成決定過程をよりわかりやすくするために、公開審査という形式を取っていますが、このような考え方に何かご意見はありますか？

- 審査をされる方に直接、より詳しい意見を述べることができ、話し合いを重ねることで評価に納得ができると思うので良い。
- 新しい方法だと思う。つまるところ、いくら助成金を頂けるかという点に関心が向くかと思いつつ、金額決定のコンセプト等をふまえ、みなさんのプレゼンを肥やしにできるという、こういう仕掛けは大賛成です。
- 応募者としてはドキドキするハードな審査方法ですが、若返りにはいいかも知れません。
- 大変良いと思います。(出席してる方は結構きついくけど)特に第一回目ということで、他の人が何を考えているのかわかりましたし、どういった方向性にすればよいのかということも理解できました。先生方も大変だと思いますが、また、密室にすると疑心暗鬼になりやすく、文句の一つも言いたくなりますが、公開でやられちゃあ、文句もなくなさっぱりしますから。

本日の公開審査会の進め方や討議内容について、何かご意見はありますか？

- 参加しているという感じがしてとても良い。
- 色々な意見を聞けて、大変勉強になりました。
- 助成をしないかという点に主点を置きすぎていると思います。もっとこうすれば良くなるのでは・・というアドバイスを欲しいと感じました。
- 3分のプレゼンは時間としては短いと思いますが、その後リターンマッチのできる場があれば不満も少なくなると思います。(今回は良かった。)しかし助成金額の決め方が明確でなかった点に不満が残ります。大切なことなので審査会を始める前に決めて明示しておくべきだと思います。
- 次回以降は公開審査のみで終わらせるのではなく、他の区民や他のグループに連携したりできるような工夫して頂きたい。
- 疲れますね。金額については討議なしで、おまかせしたいと思います。
- 何件かは、まちづくりにはずれていていると思います。前もって審査のようなものが考えられないか。

その他『千代田まちづくりサポート』について何かご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- 継続したサポートをして活動を育てていくのが重要だと思うので、そのための仕組みを整備してほしいです。
- とても良いと思う。なるべくテーマは幅広く受け入れる構えを続けてほしいと思う。
- 各団体とも個性をもって熱心にまちづくりを行おうという姿勢がみられ、審査員の方々はとても苦労されているなと思いました。金銭的にサポートできなくても、他の何かができることを、また考えて頂きたいと思います。
- 毎年この企画を続けてもらいたい。助成金額を大幅に増やして下さい。
- 資金源の賛助会員の意見収集、会員への活動の逆向きの反映を期待します。
- 重複したテーマを持つ、あるいはビジョンを持つグループが多かったように思う。2つを合わせてグループ化したり、助成したりするのも良いのではないかと。

千代田まちづくりサポート審査会委員		これからの予定	
会長 卯月盛夫	早稲田大学教授	中間発表会	平成11年 4月17日(土) 午後1:00~ 九段社会教育会館6階レクリエーションホール
副会長 北沢猛	東京大学助教授		
委員 伊東敏雄	番町街づくり協議会副会長	最終発表会	平成11年 9月11日(土) (予定) 九段社会教育会館6階レクリエーションホール
委員 三枝敏男	神田公園街づくり協議会会長		
委員 平岩千代子	(株)電通総研		
委員 森まゆみ	作家		
委員 山崎芳明	千代田区都市計画課長 (敬称略)		

この事業は以下の会員の会費によって支えられています。

平成10年4月現在

(財)千代田区街づくり推進公社賛助会員一覧 個人58名(氏名掲載略) 法人132社 計190

保険関係 三井海上火災保険㈱	大東京火災海上保険㈱ 日本火災海上保険㈱	千代田火災海上保険㈱ 日産火災海上保険㈱	大成火災海上保険㈱	太陽生命保険相互会社	日本生命保険相互会社
金融機関 興産信用金庫 住友信託銀行㈱東京営業部 日本信託銀行㈱ ㈱わかしお銀行本店営業部	㈱東京都民銀行神田支店 東洋信託銀行㈱ 農林中央金庫東京支店 中央信用金庫	㈱第一勧業銀行麹町支店 三井信託銀行㈱ ㈱日本債券信用銀行 太陽信用金庫神田支店	㈱さくら銀行 ㈱住友銀行 朝日信用金庫 ㈱あさひ銀行本店	安田信託銀行㈱ ㈱三和銀行 ㈱東日本銀行飯田橋支店 ㈱日本興業銀行	神田信用金庫 ㈱東京三菱銀行 芝信用金庫 ㈱大和銀行
建築・土木関係 三井建設㈱ ㈱熊谷組東京支店 東洋建設㈱東京支店 佐藤工業㈱東京支店 東京舗装工業㈱関東第一支店 真柄建設㈱東京支店 不動産関係 三井不動産㈱ ㈱共立エステート	大林道路㈱東京支店 前田建設工業㈱ 長野建設㈱東京本社 大成建設㈱ ㈱フジタ ㈱ナカノコーポレーション ㈱長谷工コーポレーション	㈱鎌倉高組東京支社 ㈱大林組東京本社 ㈱関根組東京支店 鉄建建設㈱ 大木建設㈱ 常盤工業㈱ ㈱増岡組東京支店 安田不動産㈱ ㈱お茶の水スクエア	西松建設㈱ 大木建設㈱ 不動建設㈱ 清水建設㈱東京支店上野事務所 三機工業㈱ 東亜建設工業㈱東京支店 ニューウォールシステム㈱ 住友不動産㈱ 森ビル産業㈱	㈱竹中工務店東京本店 飛鳥建設㈱東京支店 日比谷総合設備㈱ 三菱建設㈱ 鹿島道路㈱ 高砂熱学工業㈱東京本店 古久根建設㈱ 秀和㈱ 大日本企業㈱	鹿島建設㈱ 戸田建設㈱東京支店 ㈱久保工 日東建設㈱ 飛鳥道路㈱ ダイダイン㈱東京本社 ㈱トヨコ理研 三菱地所㈱ 協永不動産㈱
建設設計 基礎地盤コンサルツ㈱東京支社 ㈱環境開発研究所 ㈱アルセッド建築研究所 ㈱アバン・ウイング ビル管理 広告代理業 販売・興業関係 電機・通信関係 その他 日本事務器㈱東京支店	日本橋興業㈱ ㈱アパトラフィックエンジニアリング ㈱橋山設計 マト設計・コンサル㈱ パンフィック・コンサルタンツ㈱ 東京美化㈱ ㈱イサミヤ ㈱伊勢丹 ㈱日立製作所 秋葉原西口商店街振興組合 ヨシモトボール㈱	㈱山下設計 ㈱エイディティ計画研究所 ㈱丹青研究所 安田総合計画㈱ ㈱伊藤建築設計事務所 富士建物管理㈱	㈱松田平田 エヌティティ都市開発㈱ ㈱首都圏総合計画研究所 ㈱アール・アイ・エー ㈱ラウム計画設計研究所 鹿島建物総合管理㈱	㈱レック都市地域研究所 ㈱新都市開発機構 ニッセイエプロ㈱ ㈱都市環境計画研究所 ㈱都市映像研究室	㈱アイテック計画 ㈱ADプロジェクト 八重洲コンサルタント㈱
		東宝㈱ 日本電気㈱ 東京高速道路㈱ 神保町1丁目南地区市街地再開発組合	㈱そごう東京店 三菱電機㈱ 秋葉原中央通商店街振興組合 (社)東京建築士事務所協会千代田支部	三洋電機㈱ 秋葉原商店街振興組合 丸紅㈱	㈱明正社

編集・発行

平成11年1月発行

(財)千代田区街づくり推進公社 企画情報課

千代田区九段南1-6-17 千代田会館2階 TEL. 03-3262-0211 Fax. 03-3262-0213

公社ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/citystation/> E-mail: makecity@pop17.odn.ne.jp

デザイン制作 (株)都市映像研究室